



2023 年度

勉強に役立つ日本語クラス

報告書



神戸 YWCA 学院

日本語コース

1. 趣旨

2022 年秋より、新型コロナウイルスの水際対策が大幅に緩和されたのに伴い、日本の公立学校で学ぶ外国にルーツを持つ子どもたち（日本国籍も含む）が大幅に増加した。義務教育の現場では慢性的に教師が不足しており、クラスに日本語が分からない児童生徒がいる場合、教師がその子どもに十分に対応することは、非常に難しい現状がある。その子どもたちは、慣れない環境の中で、理解できない日本語の中で、孤独感を抱くようになる。

神戸 YWCA 学院は 1950 年代から約 60 年にわたり専門学校として日本語教育を行ってきた実績と効果的な日本語指導のノウハウを持っている。現在は公益財団法人としてより地域に密着し、多文化共生を実現するための活動を進める中で、地域に暮らす子どもたちの日本語支援にも力を注いでいる。

神戸 YWCA 学院では、外国にルーツを持つ子どもたちを支援する「日本語トータル・サポート」というプログラムを、形を変えながら 2008 年以降、10 年以上にわたり行っている。このプログラムは、子どもたちが来日した直後から、日本社会を支える一員として社会人になっていくまで、継続的、且つ、トータルのサポートすることを目的としている。プログラムは「ことば」を中心にサポートする STEP1（『勉強に役立つ日本語クラス』）と、「学校生活」を主にサポートする STEP2（『はっぴー・すくーる』）と 2 つのステップからなる。

STEP1 である『勉強に役立つ日本語クラス』は、来日したばかりの子どもたちが、夏休み期間、短期集中的に基礎的な日本語や教科日本語を学ぶ。近年は、神戸 YWCA 学院が長年培ってきた外国につながるのある子どもたちへの支援のノウハウを他団体にも共有していく「公共財化」にも力を入れている。オリジナル教材である「勉強に役立つ日本語 初級 1」は、神戸 YWCA 学院のホームページで公開し、無料でダウンロードできるようにしている。新型コロナ感染防止のための規制が緩和されたことで、今年は、他団体の支援者に広く呼び掛け、多くの支援者の見学を受け入れることができた。

2. 内容

(1) 対象

応募条件は 2021 年度までは、「学校の勉強のために、基礎的な日本語の勉強が必要な 13 歳から 18 歳くらいの外国にルーツのある子ども（日本国籍を持つ子どもも含む）」だった。しかし近年、いわゆる学齢期を超えても、夜間中学校に入学する場合もあるなど、学校の勉強のための基礎的な日本語学習が必要な外国にルーツのある子どもが多様化しているため、年齢枠をなくし、「学校の勉強のために基礎的な日本語を勉強したい児童生徒」とした。

(2) 日時

2023 年 7 月 31 日（月）～8 月 10 日 全 9 日間（土日・祝日は休み）

(3) 学習形態・学習内容

- ①基礎的な日本語学習（50 分×2 コマ/日）
レベル別 3 クラス

基礎的な日本語学習・・・初級レベルの日本語を学ぶことを主な目的とする

②教科につながる日本語学習(60分×1コマ/日)

中学生、高校生：数学 60分×5日、英語 60分×4日

小学生：算数 60分×5日、国語 60分×4日

教科につながる日本語学習・・・教科を理解するための日本語の習得を目的とする

(4) プログラム担当者

すべてのクラスの授業は、神戸YWCA学院日本語コースの登録日本語講師が担当した。

「教科につながる日本語学習」クラスには、学校での教科指導の経験のある日本人サポーターと、『勉強に役立つ日本語クラス』修了生の先輩サポーターが、授業の補助を行った。

- ・神戸YWCA学院 日本語コース登録日本語講師 12人
- ・日本人サポーター 1人
- ・先輩サポーター 2人

(5) オリジナル教材

このクラスでは当初、市販のテキストを使っていたが、クラスの趣旨に合うものがなく、2013年度から自主教材を作成し、毎年改訂作業を行ってきた。子どもが対象であること、短期間で集中的に日本語能力を伸ばす必要があることを考えたとき、市販のテキストを使用すると一つの文法項目を習得するのに時間がかかってしまう。神戸YWCA学院のオリジナル教材「勉強に役立つ日本語 初級1」「勉強に役立つ日本語 初級1 言葉ノート」は、扱う文法項目をコンパクトにまとめており、短期間で効果的に日本語を身につけることができる。オリジナル教材は、内容、語彙などについて見直す改訂作業を重ねている。昨年からは、「公共財化」の一つとして、「勉強に役立つ日本語 初級1」を、神戸YWCA学院のホームページからダウンロードできるようにした。今後、「勉強に役立つ日本語 初級2」も公共財化に向けて、改訂予定である。

また、「教科につながる日本語学習」クラスについては、市販のテキスト、オリジナル教材などを使って指導を行った。

(6) 授業見学会・修了式

今年度も神戸YWCAが長年培ってきた外国につながりにある子どもたちへの支援のノウハウを他団体にも共有していく「公共財化」の観点から、授業見学を広く受け入れた。神戸市立兵庫中学校北分校、神戸市立小部中学より教師、地域の支援団体より支援者がのべ10名ほど見学した。

修了式では、全員で学習の様子をまとめて紹介するスライドを見て9日間を振り返った。

(7) 成果と課題

・夜間中学校との連携

一昨年度より、年齢枠をなくし、対象を「学校の勉強のために基礎的な日本語を勉強したい児童生徒」とした。今年度も、神戸市立兵庫中学校北分校（夜間中学校）から、来日まもない新入生4人の生徒の参加があった。来日してまもない時期の日本語学習は、生徒にとっては学習効果が期待できる。受入れ校の先生にとっては、9月からの指導の負担軽減となるものと思われる。

・時間割りの工夫

9日間毎日休まずに神戸YWCAへ通った子どもたちは基礎的な日本語力、また英語、数学に関する基礎的な知識を得ることができた。また昨年度に出た意見を取り入れ、1コマの授業時間を今年度は45分をから50分に変更した。毎日日本語を2コマ行ったので、一日あたりの学習時間が10分増え、効果的に学習ができた。今後も、子どもたちの学習背景、レベルなどを考慮して、適切な授業時間について考えていきたい。

・先輩サポーター

このクラスを修了し、大学生になった子どもたちが、授業に先輩サポーターとして参加し、母語で子どもたちを支援した。そして、授業後、見学に来た支援者とも交流を持ち、外国にルーツ持つ子どもたちが抱えている様々な問題点などを共有することができた。

・神戸YWCA 会館外/オンラインでの開催

芦屋市の外国につながるのある子どもを支援するセンター校での開催を目指し、同校と話し合いを重ねたが、運営上の問題点が浮上し、解決に至らず、同校でのクラスは実施できなかった。神戸YWCAで行う「勉強に役立つ日本語クラス」への参加を芦屋市教育委員会より、市内の学校に呼びかけていただいたが、残念ながら、芦屋市内の学校からの参加者がいなかった。小中学校での出張形式の「勉強に役立つ日本語クラス」の実施は今後の課題である。そのために、教育委員会や学校と情報交換を継続的に行いたい。

来日間もない子どもたちが公共交通機関を使って神戸YWCAに通学することの安全性、交通費の負担の問題に対処するため、今年もオンラインクラスの準備をしたが、オンライン希望者がおらず、結果として、すべて対面クラスとなった。子どもたちが負担なくプログラムに参加できるように、これからもオンラインクラス開講の準備は行っていきたい。

・今後について

引き続き、学校の先生方、地域の支援者、ご家庭にこの「日本語トータルサポートプログラム」への理解を深めていただくために、どのような方策があるのか考え、それを実施することが課題である。また、このプログラムを修了した先輩のマンパワーはとても貴重であるので、今後とも関係を継続していきたい。

3. STEP2「はっぴー・すくーる」へ

STEP1の「勉強に役立つ日本語クラス」が終了した後も継続的なプログラムを実施することで子どもたちがのびのびと自分らしくいることができる環境づくりを行っている。「勉強に役立つ日本語クラス」修了式では、継続プログラムであるSTEP2「はっぴー・すくーる」を紹介し、参加を呼び掛けた。

「はっぴー・すくーる」は、対面だけでなく、オンラインでも参加できるプログラムを用意し、遠方に居住する子どもがプログラムに参加できるようにしている。

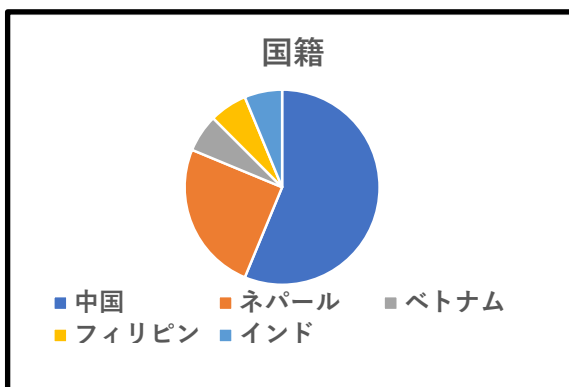
「はっぴー・すくーる」でも、地域のボランティア団体等・支援者にも広く参加を呼びかけ、彼らと、神戸YWCA学院が培ってきた子どもの日本語教育のノウハウを共有し、ひいては、子どもたちが居住地にかかわらず日本語支援が受けられるような場所の拡充に役立つことを目指している。

4. 参加者について

参加人数 16人

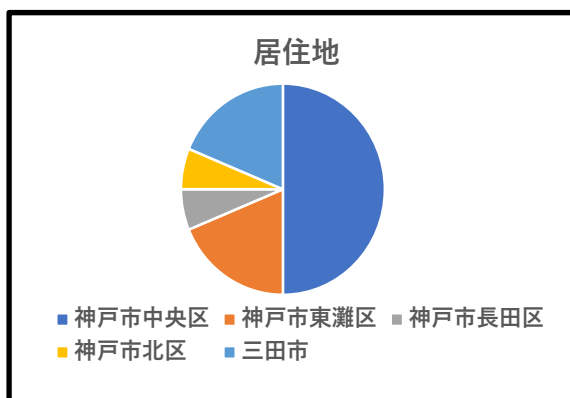
(1) 国籍

中国	9人
ネパール	4人
ベトナム	1人
フィリピン	1人
インド	1人



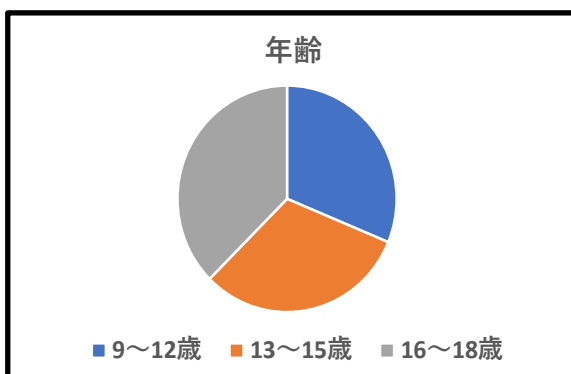
(2) 居住地

神戸市中央区	8人
神戸市東灘区	3人
神戸市長田区	1人
神戸市北区	1人
三田市	3人



(3) 年齢

9~12歳	5人
13~15歳	5人
16~18歳	6人



(4) 学習者の集め方

- 地域の外国にルーツを持つ子ども支援団体への案内
- 近隣の小中学校への案内
- 教育委員会への案内
- 神戸YWCA 学院日本語講師への案内

5. 実績

(1) 出席状況

出席率 91%

(2) プレイメントテストについて

事前に日本語、教科（数学・英語）の力を知るために、プレイメントテスト（日本語インタビュー、簡単な筆記試験）を行なった。その結果、日本語がよりゼロレベルに近い子どもたち、小学生6名、中学生8名、高校生2名がこのクラスで勉強した。また、クラス運営のために、日本語レベルが高かった子どもを断らざるを得なかった。

(3) 子どもたちの声

- 授業はおもしろかったです。先生はやさしかったです。
- 友だちができました。
- 日本語は、先生と話すときと、友だちと話すときと、話し方が変わります。
- 自己紹介とあいさつが、日本語で出来るようになりました。
- 話したいことがたくさんあります。もっと勉強して日本語で話せるようになりたいです。



(4) 先輩の進学先（2022年度までの実績）

神戸YWCA 学院日本語コースのレギュラーコース等を経て...

県立芦屋国際中等学校 県立神戸甲北高校 県立香寺高校 県立加古川南高校
県立伊丹北高校 県立東灘高校 県立西宮香風高校 神戸龍谷中学校高等学校
県立尼崎工業高校 県立芦屋高校 県立舞子高校 徳島大学 龍谷大学
甲南大学 同志社大学 立命館大学 神戸大学工学部 兵庫県立大学
大阪大学 神戸国際大学 神戸学院大学 ほか

6. 後援・協力団体等

(1) 後援

神戸市教育委員会 兵庫県教育委員会

(2) 寄付

◇寄付者名（個人 順不同）

関由美子 岡山直道 高橋智子 西本玲子 鶴崎祥子 川辺比呂子 山崎恵 玉越由美子
関家美都子 上紀子 玉岡昇治 三浦啓子

2023. 8 末現在

(3) 主な経費について

講師給与

- ・授業実施に係る費用。

日本語指導のスキルを持つプロフェッショナルな日本語教師が、日本語及び教科クラスを担当した。

- ・教材作成に係る費用。

このクラスで使用する神戸 YWCA が独自に開発したオリジナル教材の作成及び教材改訂作業を行った。

講師交通費

講師の、授業担当及び打合せ参加に係る交通費

事務局経費

お問い合わせ

神戸YWCA 学院 日本語コース

〒651-0093 神戸市中央区二宮町 1-12-10
tel. 078-231-6201 fax. 078-231-6692
e-mail: office@kobe.ywca.or.jp
www.kobe.ywca.or.jp

YWCA

（ワイ・ダブリュー・シー・エー
（Young Women's Christian Association）は…

キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語
や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社
会参画を進め、人権や健康や環境が守られ
る平和な世界を実現する国際 NGO です。